

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和08年01月27日

計画の名称	東京港における港湾機能の強化（物流・環境）													
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	東京都													
計画の目標	臨海部や都心部の開発に伴う建設需要に対応するため、建材ふ頭の受入れ機能を強化する。 都民・港湾利用者の憩いの場であり、様々な生物の生息環境の場として、港湾緑地の整備を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,009	A	2,009	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R7末
1	大井その2建材ふ頭の岸壁を増深し、大型化した船舶の満載入港を可能にする。 大井その2建材ふ頭に喫水調整して入港する船舶の割合 （喫水調整する船舶数／全船舶数）	30%	%	0%
2	海の森公園を中心に港湾緑地の来園者数を増加させる。 海の森公園の年間来園者数	0万人	万人	5万人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	A02-001	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	改良	岸壁（-6.5m）（改良）（大井 その2 建材ふ頭）	岸壁増深	東京港・南部地 区	■	■	■	■	■	1,000	5.2	－	
	A02-002	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	改良	緑地整備（海の森公園）	施設整備 約58ha	東京港・中央防 波堤地区		■	■	■		1,000		－	
	A02-003	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	沈没船 等	沈没船処理	沈没船処理	東京港			■	■	■	9		－	
												小計						2,009		
											合計						2,009			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	60	129	254	186	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	60	129	254	186	
前年度からの繰越額 (d)	0	60	46	0	
支払済額 (e)	0	143	300	120	
翌年度繰越額 (f)	60	46	0	66	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	66	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	35.48	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由				関係者調整に想定以上の時間を要し、不測の日数を生じたため。	

計画の名称	東京港における港湾機能の強化（物流・環境）		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度（5年間）	交付対象	東京都



A02-001
岸壁(-6.5m)(改良)(大井その2建材ふ頭)

A02-002
緑地整備(海の森公園)

A02-003
沈廃船処理

事前評価チェックシート

計画の名称： 東京港における港湾機能の強化（物流・環境）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性	
1) 港湾計画等と整合している。	○
I. 目標の妥当性	
2) 東京湾再生のための行動計画と整合している。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 東京港の課題等を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②事業の効果	
II. 計画の効果・効率性	
1) 事業実施により十分な事業効果が発揮される。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 事業連携等による相乗効果が得られるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①計画の具体性	
III. 計画の実現可能性	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

